

令和8年度用

改訂新版

数学の新研究

神奈川県 高校入試情報

令和7年度神奈川県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 大問数は6問、小問数は23問でほぼ例年通り。
- 大問1～3が小問集合で、大問3では、円と相似の証明問題(穴うめ式)、箱ひげ図(会話文)、2次方程式の利用、角度の問題が出題された。
- 関数のグラフと図形の融合問題(大問4)、確率(大問5)、三平方の定理と空間図形(大問6)は例年通りの出題。
- 大問3・4・5・6の一部を除き、マークシート形式が採用されている。
- 大問5の確率の問題はルールをもとに考えるさいころとおもりの計測の問題。問題文から条件を整理して正確に読みとれるようにしておきたい。

★神奈川県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■ データを読みとる問題の出題

・度数分布表やヒストグラム、箱ひげ図などのデータを読みとって答える問題がよく出題されている。データの傾向をとらえられるよう練習しておく必要がある。

新研究で対策！

- 「数値を示そう！データを読みとって説明する問題」(p.172～173)、「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」(p.188～191)で、複数のデータを読みとる問題に取り組むことができます。

■ 三平方の定理を利用した問題の出題

・体積や面積などの三平方の定理を利用した問題が例年出題されている。円周角の定理と組み合わせた問題もよく出題されるので、対策が必要である。

新研究で対策！

- 「チャレンジ！平面図形と空間図形の総合問題」(p.186～187)で、三平方の定理を利用する問題を集中強化することができます。

大問1・2は基本問題の小問集合なので、全問正解できるように練習しておきましょう。



★神奈川県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容				
	正の数・負の数	●	●	●	●
	文字と式			●	
	方程式	●	●		●
	比例と反比例				●
	平面図形				
	空間図形	●	●	●	●
	データの分析と活用	●		●	
	2年内容				
	式の計算	●	●	●	●
	連立方程式	●		●	
	1次関数	●	●	●	●
	図形の調べ方		●	●	●
	三角形	●		●	●
	平行四辺形	●		●	
	確率	●	●	●	●
	データの比較と箱ひげ図		●	●	●
	3年内容				
	式の計算	●	●	●	●
	平方根	●	●	●	●
	2次方程式	●	●	●	●
	関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
	相似な図形	●	●	●	●
	円の性質	●	●	●	●
	三平方の定理	●	●	●	●
	標本調査				
出題形式別の傾向	大問数	6	6	6	6
	小問数	23	24	24	23
	記述問題				
	図形の証明(説明)				
	その他の説明・証明など				
	立式・解法の過程の記述				
	作図(図形)				
	作図(グラフ)				

★新研究で出題した神奈川県の入試問題(令和7年度)

p.9大問3(2),p.57大問2(3),p.151大問4